

博進堂
書籍紹介

美しい体操の軌跡



加藤沢男物語

みち

表紙は桜で

閉幕からはや2か月。東京2020ではワケあって体操競技に大注目でした。

今春、「金メダルを8個獲った男」として知られる加藤沢男さんの本を担当したのです。

提供された元原稿を読んでびっくり。努力し、思想し続ける天才っぷりと、あふれる郷土愛に心揺さぶられました。

その後、お会いしてから完成まで、加藤さんはどんなに忙しくても約束を守り、こちらの提案を丁寧に受け取り、気持ちに乗せて返してくださいました。その中で博進堂の「チーム加藤」は、欲張りになつていったように思います。加藤さんにふさわしい本にしたい、届きたい人に届く本にしたい、と。

編集作業の初期段階でモチーフは桜に決めていましたが、みんなの思いをこめて最後に表紙を作りました。

営業部 星野景子

加藤沢男さんより

出版事情に無知な私は、新潟県立新潟南高等学校(以下南高)同窓で新潟日報社に勤務していた徳永君に電話をしました。

「やるか」という彼の一言で動き出しました。単に同窓生と思っていた彼は出版のプロで、博進堂を紹介してくれました。写真の版



加藤 沢男 (かとう さわお)

新潟県五泉市村松出身。1946年生まれ。筑波大学名誉教授、白鷗大学名誉教授、文化功労者。メキシコ、ミュンヘン、モントリオール五輪で金メダル8個を含む12個のメダルを獲得し、「体操ニッポン」の黄金期を支えた元体操選手。



権折衝から販路や事業計画、出版までのすべてをまさにおんぶに抱っこでした。また題字の薄田さん(書家)は博進堂の紹介でしたが、実はオリンピックであるチャスラフスカさん来日の折にチエコ大使館でお会いしており、南高の先輩であることを知ったご縁から快諾くださったとのこと。表紙の桜も素晴らしい、友人からは「村松公園か」と聞かれます。星野さん、どう答えましょうか？

加藤沢男さん初の自伝で、幼少時代の学友や恩師、体操仲間らとの思い出や、体操との出会い、けがに悩まされた現役時代の苦悩など、75年の歩みが臨場感あふれる当時の写真と共に軽妙に綴られている。「体操は、人間本来の持つ身体的美を競う競技であることを忘れてはならない」という信念のもと、現役時代、ひたすら目指した美しい体操の軌跡。



・A5判 196ページ
2,200円(税込)
・発行『美しい体操の軌跡 加藤沢男物語』出版委員会

◆購入先
博進堂 Yahoo! 店



◆問い合わせ先
博進堂ストア

☎025・271・4300(直通)

▼またはこちら

新潟日報メディアシップ「えん」/にいがた文化の記憶館/考古書店/NIC五泉/NIC村松

はくしんどう時間

“はくしんどう時間”は
博進堂の“今”をお届けする
ニュースレターです。

もくじ

- ・博進堂書籍紹介
- ・『美しい体操の軌跡この道を』
- ・アルバム事例集
- ・博進堂の企業教育
- ・新潟ラーメン旅
- ・編集後記

新 潟 ラーメン旅

新潟県がラーメン大国だということをご存知ですか？今回は、はくしんどう時間編集部ラーメンマニアことまいまいがお届けするラーメン特集です。日々の疲れを吹き飛ばす一杯…必見です！



黒とんこつ 麺の量は少なめだが超濃厚スープで満足感。ドロ系好きは頼むべし！



坦々麺 (v3) ら麺のリダー 辛いモノ好きにおすすめしたい。一番辛いv3は痺れるほどの辛さが特徴的。



ラーメン 家系ラーメンと言えばコレ！ごま油が香るネギをトッピングするのが旨い。

編集 後記

前回ご紹介した「牛久沼 水辺の記憶」写真集。はくしんどう時間を見て購入したいとお声を頂きました。ありがとうございます！今後も素敵な情報をたっぷりお届けします♪

今回のテーマは「食欲の秋」！

「新潟五大ラーメン」新潟はラーメンもうまし！週1でラーメン屋さんめぐり。ますます肥える秋。でも美味しいものが食べられるって幸せです！（りりあん）

「魚沼産コシヒカリ」の新米は、ご飯をおかずにご飯がススムくらいおいしい。親戚がいるので送ってもらえて幸せ。ありがとう新潟！（うちだ）

「好きな食べ物は白米！」と気づいたのは、新潟に来てから。どこまでも広がる田んぼを、新幹線の車窓から眺める度に、ほかほかご飯を思い出します。（れい）

秋に食べたい「おやき」。地元青森では中にあんこ等が入った甘い物として認識されているので、一般的なおやきとの違いに困惑…（まいまい）

毎年秋ごろに南魚沼で開催される本気井（MAJIDON）。新潟の秋はマジなんですよ。おススメです。（わか）



はくしんどう時間 vol.6
発行：株式会社 博進堂
TEL：025-274-7755
発行月：2021年10月
題 字：小笠原 麗(アルバム営業)

「個人の人間形成」を目的とする 博進堂の企業教育

1974年、藤坂泰介（ふじさ かひろすけ）先生をお招きし、中小企業中堅社員実修所「点塾」を核とした社員研修を本格的にスタートさせたことが、博進堂の企業教育の始まりでした。藤坂先生の研修プログラムは、ボーイスカウトの野外教育をベースとした「システムキャンプ」という独自のプログラムです。生活そのものを教育としてとらえ、集団で創作活動や炊事などを行い、個人の自主性を磨き、集団でのコミュニケーションを促進するものです。そのようなプログラムで培われた博進堂社員は、講師の指示を待つのではなく、自ら考えて行動するような姿勢

を養っていきます。藤坂先生は、著書である「指導者の条件」の中で、点塾の目的をこのように記されています。「われわれが厳守すべきことは決して時流に追従しないで、あくまで個人の人間形成を目的とする」点塾が目的としていることは、人が主体的に考えて行動する集団を形成することです。たとえ90%の短所があったとしても、10%の長所を認め、自分の役割と活かし方を知ることができれば、人は自らを成長させようとし、博進堂の企業教育は、そんな藤坂先生の人間観を反映しており、その他にも実施している知識や技術習得のための研修においてもその精神は変わりません。

経営部 清水隆太郎



アルバム 事例集

みなさんからの励ましを エネルギーに！

新しい営業スタイル

おかげさまで2021年3月卒アルバムは納品目途がつき、2022年3月卒のアルバム制作が本格的にスタートしております。

思い返せば昨年は、営業の出張訪問回数がぐっと減ってしまい、直接お会いできないもどかしさで右往左往：みなさんにも心当たりがあるのではないでしょうか。オンライン形式の打ち合わせが少しずつ増え、画面越しでもみなさんのお元氣そうな姿にほっとしたこともありました。また、新潟本社から繋いでいるおかげで、お客様と歴代の担当営業が久しぶりに再会！なんてことも。新しい

営業スタイルは、まだまだ模索の日々が続いています。

みなさんとの「共鳴」を大切に

博進堂の「今」をお届けする各種ニュースレターや、アルバム制作のヒントにしたいだけのような事例集を発行。私たちも「アルバム、無事に作れるのだろうか」と不安でした。その気持ちと正直に向き合い、ではどうしようか？と話し合い、「どんな状況になっても、一緒にアルバムを創りましょう！」と声を上げることで、みなさんと共に前を向きたかったのです。そんな「博進堂の声」に耳を傾けてくださるばかりでなく、たくさんのご感想や励ましのことばを寄せていただきました。



それがどれほど私たちのエネルギーとなったかわかりません。このような状況だからこそ生まれたこの「共鳴」を大切に、私たちは今年のアルバムシーズンも、みなさんと共に頑張ります！

営業部 小笠原麗